

ラフィエット初日を迎えました。ボストン程の冷え込みではないですが、曇り空で時折雪もちらつく一日となりました。

今朝の出発は9:00でしたので今までと比べると時間に余裕を持って朝の時間を過ごすことができました。昨夜ホテルのジムで汗を流した生徒もおり、ホテルの朝ごはんもしっかり食べ、準備万端でパデュー大学へ出発。大学にはバスで15分ほどで到着しました。大学では富士部品の金井会長、FCP(FUJI COMPONENT PARTS USA)の前原社長にも迎えて頂きました。パデュー大学についての説明を大学の方にさせていただきましたが現役大学3年生の2名も通訳兼ガイドとして参加してくれました。日本人の2人ですがインターナショナルスクールに通っていたと言うことで日本語よりも英語の方が得意と言う2人です。大学内のツアーは2人が先頭に立ち、その場その場で最新情報を教えてくれました。パデュー大学はアームストロングを始め23名の宇宙飛行士を輩出していますが、来年にも新しい宇宙飛行士が誕生する予定との話も聞くことができました。アームストロングが月に降り立った際の歩幅を模した足跡の上を歩いたり、宇宙船や月の石などを見て回りました。大学は春休みに入っていたため学生も少なく、施設もゆっくりと見る事が出来ました。午後は、アメフト場やバスケットスタジアムを見せて頂いたのですが、その規模に皆びっくり。とても大学の施設とは思えません。ガイドの2人によればアメリカの大学スポーツにかかる情熱と費用は並々ならぬものがあるそうで、パデュー大学のバスケットボールチームのスポンサーはナイキやマクドナルドなど。スタジアムには今まで得たトロフィーが並んでいました。

本来なら、こちらでノーベル賞を受賞された根岸教授の講話があるはずでしたが、事情により急遽キャンセルとなってしまいました。根岸教授とお会いすることを本当に楽しみにしていた生徒たちは流石にショックを隠し切れませんでした。それでも、ガイド役の2人がこの機会にと、自分たちの経歴や大学を紹介する時間を作ってくれました。生徒からの質問にも丁寧に答えてくれ、その後も空いている教室を貸して頂き、2人を囲みグループセッションを行いました。

留学や海外大学進学を考えている生徒は、入試やカリキュラムの組み方について具体的に聞いたり、宇宙工学、自然科学など自分の興味のある分野についてどのような研究や勉強が行われているのかを質問していました。パデュー大学は広大で様々な国籍の学生がいるため、サークルなどの活動も多種多様で、自分のしたいことをしっかりと持っていなければぶれてしまうこと、高校時代から勉強以外で熱中できることを見つけるなどのアドバイスをもらいました。大学院生も含め40,000人の学生が在籍しているこの大学で日本人は60人ほどだと言います。この2人だからこそその視点で大学について知ることができました。最後に生徒からお礼の言葉を述べてもらいましたが、急なスケジュールの変更にもかかわらず様々なお話をさせていただいたことへの感謝の気持ちで溢れていました。今回の研修のひとつの目玉とも言える根岸教授の講話が無くなり残念な気持ちで一杯ですが、気持ちを切り替えその日出来ることを精一杯

しようとする姿は立派でした。

今日の残念な気持ちを明日、明後日の活動への活力にしてもらいたいと思います。



パデュー大学のマスコット・ボイラーメーカーズ



根岸教授銅像の前で



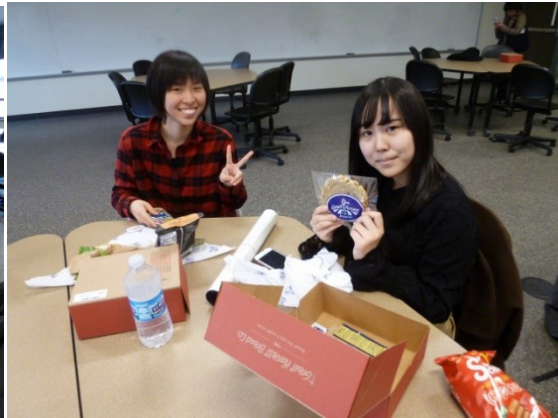
科学研究ラボの前で
足跡をたどる生徒



アームストロング月面飛行の
足跡をたどる生徒



ランチ①



ランチ②



ランチ③



ランチ④



バスケットスタジアムを見学
ブセッション



大学生アガさんとのグルー
ブセッション



大学生ツノダさんとのグループセッション



夕食